

東区まちづくりプラン 2023年度（令和5年度）実績一覧

1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり

評価一覧（全33取組）	◎	18件(55%)：進捗率100%以上
	○	10件(30%)：進捗率50%以上 100%未満
	△	5件(15%)：進捗率50%未満

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標						実施時期	評価	取組内容	検証シートページ
					2022年度実績	2023年度（令和5年度）			2025年度	2030年度				
						目標値	実績	進捗率						
(1)土砂災害等に対する備え	平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。		○	(ア)防災マップを作り、災害に備えよう！	防災マップを作成した町内会数						通年	◎	未作成であった29町内会のうち、矢賀学区の1町内会は、新たに防災マップを作成し、配布した。その他の28町内会については、これまでに作成した地区全体版の防災マップを活用することとした。	1
					167/196町内会	196/196町内会	196/196町内会	100%	196/196町内会（2023年）	更新				
				(イ)「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	防災訓練を実施した地区数						通年	○	学区自主防災会と連携して、二葉エリア、福木・温品エリア及び牛田・早稲田エリアでの防災訓練を実施した。また、9月17日に東区防災訓練・防災フェアを中山地区において実施した。	2
					4地区/年	4地区/年	3地区/年	75%	4地区/年	4地区/年				
(2)避難行動要支援者への支援	要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。		○	要支援者を地域で支えよう！	対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数 ※ 2022年度指標修正						通年	◎	個人情報の外部提供に同意した避難行動要支援者のうち、危険区域に居住し、避難支援者がいないなどの優先作成対象者について、23人の個別避難計画の作成を支援した。	3
					21人/年	20人以上/年	23人/年	115%	20人以上/年	20人以上/年				
(3)地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化	町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。	○	○	(ア)次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	講演会の参加者数						12月	○	12月2日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、講演会の代替として、地域コミュニティの活性化につながる発表を実施した。	4
					445人 （YouTubeの視聴回数含む）	500人	447人	89%	500人	500人				
				(イ)「“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助金」	新規申請件数						通年	◎	1次募集、2次募集を行い、それぞれ3件の新規申請があった。	5
					3件/年	2件以上/年	6件/年	300%	2件以上/年	2件以上/年				
(4)犯罪の起こりにくい安全なまちづくり	安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。		○	(ア)地域の安全は地域で守ろう！	防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数						4月～7月	○	申請のあった3台（温品1台、尾長2台）いずれも補助金が交付決定され、すべて設置を完了した。	6
					1台/年	5台以上/年	3台/年	60%	5台以上/年	5台以上/年				
				(イ)防犯灯でまちを明るくしよう！	防犯灯の新規設置か所数						通年	◎	区役所が新規設置する防犯灯については、要望のあった12か所について、設置工事が完了した。市からの補助金で町内会が新設する防犯灯については、設置申請のあった10か所について、設置が完了した。	7
					24か所/年	20か所/年	22か所/年	110%	20か所/年	20か所/年				
(5)交通事故のない安全なまちづくり	交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。		○	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数						通年	◎	交通安全運動街頭キャンペーンについては、春（5月）、夏（7月）、秋（9月）、年末（12月）に開催した。 また、自転車交通マナー教室については、11月に瀬戸内高校で、3月に「広島東安全・安心フェスタ」において行った。	8
					5回/年	6回以上/年	6回/年	100%	6回以上/年	6回以上/年				

東区まちづくりプラン 2023年度（令和5年度）実績一覧

2 みんなで支え合うまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標						実施時期	評価	取組内容	検証シートページ
					2022年度実績	2023年度（令和5年度）			2025年度	2030年度				
					目標値	実績	進捗率							
(1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応	認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。		○	(ア) 認知症サポーターになろう！	認知症サポーター養成講座の実施校数						通年	○	5月に小・中学校長会で講座の開催を依頼した結果、昨年度より多くの学校で開催することができた。2023年度に実施することができなかった小学校については、次年度の実施に向けて個別に働き掛けを行った。	9
			○	(イ) 認知症支えあいカフェを広めよう！	認知症支えあいカフェの設置地区数						通年	◎	未設置地区において、立ち上げ支援を行った結果、2か所でカフェの立ち上げを行うことができた。新型コロナウイルス感染症対策により休止していたカフェも再開できた。	10
(2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進	介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。		○	いきいき百歳体操に取り組もう！	拠点数と参加者数						通年	○	地域団体等と協力して、新たに5拠点を開設することができたが、3拠点の閉鎖・休止があった。いきいき百歳体操以外のラジオ体操やウォーキング、グラウンドゴルフ等の介護予防活動に取り組む地域もある。	11
(3) 地域ぐるみの子育て支援	子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。		○	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	地域の子育てオープンスペースの参加者数						通年	○	子育てオープンスペースは、18か所で170回開設し、延2,325人の参加があった。また、「オンラインおしゃべり広場」は13回開催し、141人の参加があり、新たに開店した多世代カフェや高齢者の地域の通いの場には子育て中の親子が延334人参加し、交流した。	12
(4) 地域共生社会の実現に向けた取組	少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。		○	(ア) 「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	地域支えあいリストの掲載件数 ※ 2021年度に指標上方修正						9月	◎	地域団体の活動を日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストを作成し、地域団体への配布やホームページに掲載し、資源情報の発信の更新を行った。	13
			○	(イ) 医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	医療介護関係者と地域団体が連携した地区数 ※ 2021年度に指標上方修正						通年	◎	地域包括支援センターと調整を行い、13地区すべての地域に、医療介護関係者を派遣することができた。	14
			○	(ウ) 地域共生社会実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	多世代の交流の場の開催地区数						通年	◎	6月に開店した矢賀多世代カフェに、乳幼児の親子や小学生が参加し、交流した。また、地域の会議等で障害支援事業所のお菓子の活用が始まり(4か所)、障害者作業所の自主製品の販売も始まった(2か所)。2か所のいきいき百歳体操、2つの子育てオープンスペースに障害者が参加し、交流した。	15
			○	(エ) 要支援者を地域で支えよう！ 【再掲】1－(2)	対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数 ※ 2022年度指標修正						通年	◎	個人情報の外部提供に同意した避難行動要支援者のうち、危険区域に居住し、避難支援者がいないなどの優先作成対象者について、23人の個別避難計画の作成を支援した。	3
(5) 地域で取り組む生活習慣病予防	平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、健診受診者を増やすことにより健康寿命を延ばす。		○	(ア) 元気じゃ健診を受けよう！	特定健康診査受診率						通年	△	ケアマネジャー自主勉強会で元気じゃ健診の広報及び担当する高齢者家族への受診勧奨を依頼した。	16
			○	(イ) 野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	地元野菜を活用したレシピの数						通年	◎	お弁当にも使える野菜レシピ「ピーマンのチーズ焼き」と地元野菜を使用した野菜レシピ「大根葉のふりかけ」を作成し、食育講座、大学祭、木曜であい市等で配付した。	17
			○	(ウ) 東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	①「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合						10月	△	10月に開催した「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」において、ウォーキングを行った結果、15名の参加者の内、60歳未満の参加者が1名あった。	18
			○		②週1回程度ウォーキング活動をする地区数 ※ 2021年度に指標追加						通年		ウォーキンググループの立ち上げ支援を行った団体へ、自主グループとして継続できるよう支援を行い、新たに2団体が自主グループとして活動を始めた。	

東区まちづくりプラン 2023年度（令和5年度）実績一覧

3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり

項目	課題と対(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標					実施時期	評価	取組内容	検証シート ページ	
					2022年度 実績	2023年度（令和5年度）			2025年度					2030年度
					目標値	実績	進捗率							
(1)二葉の里歴史の散歩道などの活用	二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。		○	(ア)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	年間参加者数						通年	○	各広報ツールにより参加を呼び掛け、「ふたばの日」(参加者321人)、「いつでもガイド」(参加者293人)を実施した。その他、学習支援（尾長小118人、牛田小39人）、夏の夜祈りと平和のタペのガイドツアー(29人)を実施した。	19
					850人	855人	800人	94%	871人	911人				
				(イ)「夏の夜、祈りと平和のタペ」の来訪者を増やそう！	イベントの来訪者数						8月	○	各広報ツールにより参加を呼び掛け、イベントを実施し、1,266人が来訪した。	20
					1,324人	2,150人	1,266人	59%	2,250人	2,500人				
(2)都心の近くにある自然とのふれあいの促進	都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後 も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。		○	(ア)自然観察の楽しさを広めよう！	年間参加者数						通年	△	各広報ツールによりイベントの周知を図り、自然観察等を5回開催し、67人の参加があった。	21
					152人	230人	67人	29%	250人	250人				
				(イ)都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	牛田山ハイキング参加者数						11月	○	各広報ツールによりイベントの周知を図り、グループ登山イベントでは84人、いつでも登山ウィークでは73人の参加があった。	22
					132人	192人	157人	82%	200人	200人				
			(ウ)地域主催のハイキングイベントを増やそう！	ハイキングイベントの実施件数 ※ 2023年度指標修正						通年	◎	3月9日から3月29日まで、尾長山、高尾山、大内越山で「いつでも登山イベント」を実施した。	23	
				1件/年	3件/年	3件/年	100%	1件/年 (2022年度)	累計3件					
(3)地域資源を生かした住民主体の活動の推進	東区の魅力や活力をさらに高め ていくために、地域資源を生かした まちづくりを進める団体等に積極 的に制度の情報提供を行い、活動 する団体を増やす。		○	「魅力と活力向上推進事業補助金」	新規申請件数						通年	△	「市民と市政」等で広報を行った結果、1次募集で新規1件、継続1件の申請があったが、新規申請は不採択となった。	24
					1件/年	4件以上/年	1件/年	25%	4件以上/年	4件以上/年				
(4)大学との地域連携によるまちづくり	地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。		○	(ア)健康づくりに取り組む若者を育てよう！	健康展の出展回数						10月～11月	◎	＜広島女学院大学＞ 11月の大学祭で、朝食・エイズ・飲酒に関する展示及び体験コーナーを設置した。また、肺がん予防講演会及びエイズ啓発街頭キャンペーンを実施した。 ＜比治山大学＞ 「地元野菜のレシピ」を学生と協同作成し、10月の大学祭及び木曜であい市で掲示・配付した。	25
					2回/年	2回/年	2回/年	100%	2回/年	2回/年				
				(イ)命の大切さや思いやりの心を育もう！	大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数						11月～12月	◎	比治山大学の学生によるイベントの開催を11月7日、12月12日に行った。	26
					1回/年	1回/年	2回/年	200%	1回/年	1回/年				
(5)スポーツにふれあう機会の充実	東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。		○	(ア)地元のトップアスリートを応援しよう！	東区応援団の参加者数						10月～3月	○	10月21日の開幕戦で東区応援隊による試合応援を実施し、79人が参加した。	27
					40人	130人	79人	61%	150人	200人				
				(イ)高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数						10月～2月	◎	ニュースポーツを体験するイベントとして、エンジョイ！スポーツ祭（10月9日）、ニュースポーツ交流会（12月17日）、ひがしくスポーツセンターまつり（2月25日）を実施した。	28
					3回	3回	3回	100%	3回	3回				
(6)都心に近い農業地域の活力向上	「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	年間来場者数						通年	◎	計49回開催し、昨年度と比べ1,445人増となった。 また、「年末くじ」や「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、通常の開催以外にエキキターレ秋フェスタや東区スポーツセンターのスケート感謝祭に出店した。	29
					3,316人	4,150人	4,761人	115%	4,250人	4,500人				
(7)地域の魅力の継承	子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。		○	子どもたちに地域の魅力を伝えよう！	3者が学習支援を実施する学校等の数						6月～12月	◎	ふれあいもてなし市協議会が、矢賀うり、ちしゃの植付指導を3校で実施し、二葉の里ボランティアガイドの会が七社寺でのガイド、校内授業等を3校、緑のボランティアの会が二葉山でのガイドを1校で実施した。	30
					6校/年	6校/年	7校/年	117%	7校/年	9校/年				

東区まちづくりプラン 2023年度（令和5年度） 実績一覧

4 おもてなしの心あふれるまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標					実施時期	評価	取組内容	検証シート ページ	
					2022年度 実績	2023年度（令和5年度）			2025年度					2030年度
						目標値	実績	進捗率						
(1)陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり	「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。		○	(ア)「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	イベント等でのエキキターレの利用日数					通年	△	肉肉パーク（3月）やあんぱんパーク（3月）、クリスマスマーケット（5月）など31日間の利用があった。	31	
					49日/年	70日/年	31日/年	44%	100日/年					150日/年
			○	(イ)「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	参加企業・店舗数					11月～1月	◎	3企業・店舗が不参加となったが、グラノード広島郵便局、広島愛宕町郵局、広島テレビに参加を呼び掛け、新たに3企業が参加となった。	32	
					28企業・店舗	28企業・店舗	28企業・店舗	100%	30企業・店舗					35企業・店舗
			○	(ウ)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！ 【再掲】3－(1)－(ア)	年間参加者数					通年	○	各広報ツールにより参加を呼び掛け、「ふたばの日」(参加者321人)、「いつでもガイド」(参加者293人)を実施した。その他、学習支援（尾長小118人、牛田小39人）、夏の夜祈りと平和のタペのガイドツアー(29人)を実施した。	19	
					850人	855人	800人	94%	871人					911人
			○	(エ)「夏の夜、祈りと平和のタペ」の来訪者を増やそう 【再掲】3－(1)－(イ)	イベントの来訪者数					8月	○	各広報ツールにより参加を呼び掛け、イベントを実施し、1,266人が来訪した。	20	
					1,324人	2,150人	1,266人	59%	2,250人					2,500人
	○	(オ)「魅力と活力向上推進事業補助金」 【再掲】3－(3)	新規申請件数					通年	△	「市民と市政」等で広報を行った結果、1次募集で新規1件、継続1件の申請があったが、新規申請は不採択となった。	24			
			1件/年	4件以上/年	1件/年	25%	4件以上/年					4件以上/年		
(2)産直市などによる交流の場の創出	「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！ 【再掲】3－(6)	年間来場者数					通年	◎	計49回開催し、昨年度と比べ1,445人増となった。また、「年末くじ」や「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、通常の開催以外にエキキターレ秋フェスタや東区スポーツセンターのスケート感謝祭に出店した。	29	
					3,316人	4,150人	4,761人	115%	4,250人					4,500人
(3)公共空間（公園等）を活用した花づくり	花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。		○	東区を花でいっぱいにしよう！	花づくり活動団体数					通年	◎	既存団体から提出された活動報告書をFacebookに掲載し、本事業を紹介した。また、花づくり講座で作成した寄せ植え作品を「出会い・ふれあいフェスティバル」で展示することによって本事業をPRし、花づくり団体は計49団体となっている。	33	
					48団体	47団体	49団体	129%	50団体					55団体

目標数：7団体、3月末実績：9団体